

# 令和 6 年度 学校評価シート

学校名：那賀高等学校

校長名：森 文哉

## 目指す学校像・育てたい生徒像（スクール・ポリシー等に基づいて記載する）

生徒、保護者及び地域の方から選ばれる学校。

- 「自ら学び鍛える那高生」
- 「地域に貢献する那高生」
- 「グローバルに活躍する那高生」

## 学校評価の公表方法

誰でも閲覧できるように、本校ホームページで広く公表する。

現状・進捗度

A	十分に達成している。	(80%以上)
B	概ね達成している。	(60%以上)
C	あまり十分でない。	(40%以上)
D	不十分である。	(40%未満)

## 自己評価（分析、計画、取組、評価）

番号	計画・取組			評価（3月5日現在）			
	重点目標	現状	具体的取組	評価項目と評価指標	進捗度	進捗状況	今後の改善方策
1	3年間の教育活動全体を通してのキャリア教育の推進	B	① 時間割上の工夫と進路ガイダンス・LHR等の活用	計画的実施又は柔軟な修正による実施状況	A	進路指導部を中心に計画的に実施できた。	生徒が社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現できるよう必要なサポートを行う。教員はICT等の活用を含め、より質の高い授業展開に努める。
			② 授業改善の徹底と教員同士の授業参観による学び合い	授業アンケートの実施と分析	B	授業参観により授業改善の意識が高まった。	
			③ ICT環境の充実と効果的な運用	ICT機器の授業等様々な場面での活用状況	C	徐々に活用頻度は増えてきている。	
2	地域振興の核として地域課題の解決等の取組の推進	C	① 地域貢献につながる特別活動やボランティア活動の実施	近隣の官公庁等との交流状況、地域課題等の探求	B	活動はできたが、自主性・主体性の部分はやや弱い。	「地域に貢献する那高生」を体現化する活動はよくできている。HRや部活動を通して、生徒自らが自主的・主体的に行動するような動機付けを十分にを行う必要がある。
			② 本校教育活動の積極発信及び地域への開放	来校者数やホームページアクセス数の状況分析	B	HPの改善やInstagramを開設、積極的な学校開放等を実施。	
			③ 学校運営協議会での熟議	学校改善の取組状況と学校運営協議会による評価	B	当会の提案や指摘事項を学校運営に反映させた。	
3	国際交流活動の推進	B	① 海外研修団等の積極的な派遣や英語集中合宿等の充実	派遣の現状と推移、生徒の活動状況	A	短期・長期研修とも盛んに行われた。	特に研修団受入時のプログラム等を充実させる。SNS等により広く情報発信を行い、国際科の評価を高める。
			② 海外姉妹校等からの研修団・留学生の積極的な受入	受入（ホストファミリー）の現状と推移	B	国際科を中心に、約40家庭が留学生を受け入れた。	
4	教職員の働き方改革の推進	C	① 運営委員会を母体に学年、分掌、職員等、それぞれが目的意識を明確にした会議の有効活用	運営委員会による分析結果と各分掌の総括	B	運営委員会が核となって分掌等で協議・情報共有できた。	職員同士又は職員と管理職との双方向の「報・連・相」を徹底する。長時間労働の教職員に対し、産業医による面接を指示し、心身のリフレッシュを促す。
			② 学校行事等の精選と充実	課題と解決策の組織的検証と、長時間労働の削減	C	質の向上と行事等の精選を平行して行うことが困難。	

## 学校関係者評価（3月5日実施）

- 総合的な探究の取組について
  - ・ 発表を聞いて内容的に少し浅いかと思ったが、質問をすれば、適確に答えてくれた。発表までの努力が感じられた。とても面白い生徒に会えた。
  - ・ 多くの生徒が那賀振興局に来てくれて関わることができた。初めて会ったときは幼く感じたが、今日の発表を聞くとよくまとめられていた。高校生の関心事がよくわかり、「選挙」などは関心が低い。なお、事前に振興局職員が出張授業をした方が良かった。
  - ・ 最終的に全校生徒の前で発表するなど、どうブラッシュアップしていくかを考え、取り組んでほしい。
  - ・ 探究活動を今後さらに深めて行ってほしい。
- 生徒から学校のICT環境が整っていないと聞かすが、早く整備されたい。小中学校や大学はかなり進んでいるので、高校も乗り遅れないようにする。
- 部活動の地域移行はどう進んでいるのか。働き方改革にもつながる大切な問題である。
- 進捗度にAがないが、国際交流は間違いなくAに値する。「教職員の働き方改革の推進」は学校行事の思い切った精選など、いづれ大胆な改革が必要である。全職員が働きがいを感じつつ、協働して取り組む。
- 紀伊コスモス支援学校との交流などは、素晴らしい取組なので、ぜひ続けて行ってほしい。小中学校との交流や地域との交流も積極的に行うことも大切である。
- 地域の人々や中学生が那賀高校を実際に見て、良い学校だと感じてもらえるようにすべきである。そうすることで学校が活性化し「選ばれる学校」となる。
- 来年度、岩出市が「駅前活性化事業」を行うので、那賀高校も協力して欲しい。
- 来年度は、生徒会等生徒を交えて議論したい。
- 生徒が職場体験や社会体験をすることも大切である。